

事業費90%以上の事業の一覧(16事業)

別紙資料①

No	年度 No	事業名等	対応 方針	進捗率	意見
1	H26 -03	街路[建設局] 大和川北岸線 (公園南矢田) 整備事業	事業 継続 (B)	完了予定：H29(残3年) 事業費べーす 96%[96%] 用地取得率 94%[94%] 工事進捗率 98%[98%]	※H21意見 「重点整備路線」に位置付けられていないものの、事業進捗率が高く事業完了の 目途が立っており、残る歩道未整備区 間における歩行者の安全性の確保に向け、 着実に継続実施を図る必要があること から、評価は「事業継続(B)：予算の範 囲内で着実に継続実施するもの」とす る。
2	H25 -01	街路[建設局] 北野今市線整備事業	事業 継続 (A)	完了予定：H27(残2年) 事業費べーす 95% 用地取得率 95% 工事進捗率 58%	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(A)とする評 価案は妥当である。(全委員)
3	H25 -02	街路[建設局] 生玉片江線整備事業	事業 継続 (A)	完了予定：H27(残2年) 事業費べーす 95%[88%] 用地取得率 99%[94%] 工事進捗率 75%[55%]	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(A)とする評 価案は妥当である。(全委員)
4	H25- 03	街路[建設局] 歌島豊里線整備事業	事業 継続 (A)	完了予定：H30(残5年) 事業費べーす 94% 用地取得率 98% 工事進捗率 59%	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(A)とする評 価案は妥当である。(全委員)
5	H25 -06	街路[建設局] 田辺出戸線(長吉出戸) 整備事業	事業 継続 (B)	完了予定：H26(残1年) 事業費べーす 94%[94%] 用地取得率 98%[98%] 工事進捗率 99%[52%]	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(B)とする評 価案は妥当である。(全委員)
6	H25 -07	街路[建設局] 長吉線整備事業	事業 継続 (B)	完了予定：H26(残1年) 事業費べーす 99%[99%] 用地取得率 98%[98%] 工事進捗率 99%[99%]	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(B)とする評 価案は妥当である。(全委員)
7	H25 -09	街路[建設局] 生野線整備事業	当初 評価 C → 事業 継続 (B)	完了予定：H31(残6年) 事業費べーす 91%[91%] 用地取得率 84%[84%] 工事進捗率 72%[72%]	当事業のように事業開始より長期間が経 過しているが完了の目途が立っていない 事業については、休止・見直しすべき事 業でないか検討し、継続すべき事業であ れば、時間の観念をもって評価を上げて 早期に完了させるべきでないかを検討す る必要がある。 当事業は密集市街地のうち特に優先的な 取組みが必要な地区における路線であ り、防災上重要な路線であることから事 業継続(C)との評価は妥当でなく、事 業継続(B)と評価し、早期の完了を図 るべきである。(全委員)
8	H25 -13	街路[建設局] 中之島歩行者専用道 2号線整備事業	事業 継続 (C)	完了予定：H33(残8年) 事業費べーす 96%[96%] 用地取得率 100%[100%] 工事進捗率 0%[0%]	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(C)とする評 価案は妥当である。(全委員)
9	H25 -15	都市公園[建設局] 鶴見緑地事業	事業 継続 (B)	完了予定：H29(残4年) 事業費べーす 99.8%[98%] 用地取得率 100%[99.8%] 工事進捗率 97%[97%]	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(B)とする評 価案は妥当である。(全委員)
10	H25 -17	都市公園[建設局] 巽公園事業	事業 継続 (C)	完了予定：H29(残4年) 事業費べーす 96%[96%] 用地取得率 97%[97%] 工事進捗率 60%[56%]	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(C)とする評 価案は妥当である。(全委員)

No	年度 No	事業名等	対応 方針	進捗率	意見
11	H25 -18	都市公園[建設局] 中之島西公園事業	事業 継続 (C)	完了予定：H29(残4年) 事業費ベース 98%[98%] 用地取得率 97%[97%] 工事進捗率 95%[95%]	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(C)とする評 価案は妥当である。(全委員)
12	H25 -22	河川[建設局] 城北川改修事業	事業 継続 (A)	完了予定：H27(残2年) 事業費ベース 99%(87%) [85%] 護岸工100%(92%) [91%] 築堤工100%(64%) [60%] 浚渫工 93%(68%) [47%] 橋梁工 92%(48%) [44%] 水門工100%(100%) [100%] ※()は前回評価時の事業 規模に対する進捗	「事業の必要性」「事業の実現見通し」 「事業の優先度」の3つの視点での分析 も適切であり、事業継続(A)とする評 価案は妥当である。(全委員)
13	H24 -02	第二種市街地再開発 [都市整備局] 阿倍野地区 第二種市街地 再開発事業	事業 継続 (A)	完了予定：H27(残3年) 事業費ベース：97% 施設建築率：97% 道路築造率：67% 用地取得率：100%	・「事業の必要性」「事業の実現見通 し」「事業の優先度」の3つの視点での 分析も適切であり、「事業継続(A)」は 妥当といえる。
14	H24 -08	公園[建設局] 大和川公園事業	事業 継続 (C)	完了予定：未定 事業費ベース：96% 用地取得率：93% 工事進捗率：69%	・「事業の必要性」「事業の実現見通 し」については、当初の計画のままでは疑 義があったが、必要最低限の整備を実施 し事業を完了させて供用するものとして いるため「事業継続(C)」は妥当といえ る。 ・事業の実施にあたっては、最も効率的 に機能が発揮されるよう、この種別の公 園であれば、このような設備・遊具が必 要というような従来の計画論にとらわれ ることなく、公園の使い方や周辺地域の 状況と意向を十分確認しながら事業を進 めていただきたい。(角野委員 ※その 他の委員も賛同)
15	H23 -12	公園[建設局] 津守中央公園	事業 継続 (B)	完了予定：H25(残2年) 事業費ベース99.7% 工事進捗率：95.7%	・ 前回再評価の結果および一部供用して いる区域において既に大勢の人々に広く 利用されていることから、投資効果があ り、事業の必要性は高い。 ・ 厳しい財政状況の中で長期化している が、用地取得は完了し工事進捗率は 95.7%と高いことから、事業完了時期の 実現可能性が高い。 ・ 既に大勢の人々に広く利用されている 一方で、交通量が多く幅員の大きい新た にわ筋に面した側にフェンス等で囲まれ た未整備区域が残り景観上問題があるた め、事業遅延による影響は大きい。 ・ 以上より、所管局の自己評価「事業継 続(B)：着実に継続実施するもの」は 妥当である。
16	H22 -07	公園[建設局] 扇町公園	事業 継続 (B)	完了予定：H24(残2年) 事業費ベース95.5% 用地取得率 100 % 工事進捗率 95.3% (面積ベース)	できるだけ早期に公園機能を回復し、事 業を完了させる必要性は認められると ころであり、ホームレスの自立支援、自 主撤去に向け取り組み、平成24年度ま でに事業を完了させる見通しを立てて いることから、評価としては、「事業継 続(B)：予算の範囲内で着実に継続実 施するもの」とする。